Governance

情報セキュリティ

ニューノーマル時代の変化に直面している中小・中堅企業に寄り添い、成長、生産性向上、発展を推進することで、人と企業の幸せの実現を全力で支援していく船井総研グループは、お客様やお取引先様からお預かりした情報を含む当社グループの情報資産を情報漏洩や改ざんなどから守るため、情報セキュリティをESG活動および経営の重要課題と認識し、事業活動を通じて継続的に取り組んでいます。

情報セキュリティ基本方針の策定

船井総研グループは、『情報セキュリティ基本方針』を策定し、グループ全社すべての役員・従業員は本趣旨を理解、遵守し、情報セキュリティの維持及び改善に取り組んでいます。

情報セキュリティ基本方針

1 社内管理体制の構築・対策の実施

- 情報セキュリティの維持・改善のために情報セキュリティ管理の組織を設置し、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。
- 情報管理体制を構築し、船井総研グループの管理下にある情報資産の適切な保護対策に努めます。

2 全役職員の取組

- 企業活動において知り又は知り得た情報及び業務上保有する全ての情報に対して、これら情報資産に携わる役職員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにします。
- 刻々と変わる状況に対応できるよう、教育・訓練を継続して行っていきます。

3 法令および契約上の要求事項の遵守

- 情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。

4 内部ガイドラインの整備と違反及び事故への対応

- 内部ガイドラインや各種手順書を整備し、個人情報を含む情報資産全般の取扱いについて明確にします。
- 情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故に対しては、適切に対処し、再発防止に努めるのみならず、厳しい態度で挑むことを、社内外に周知徹底します。

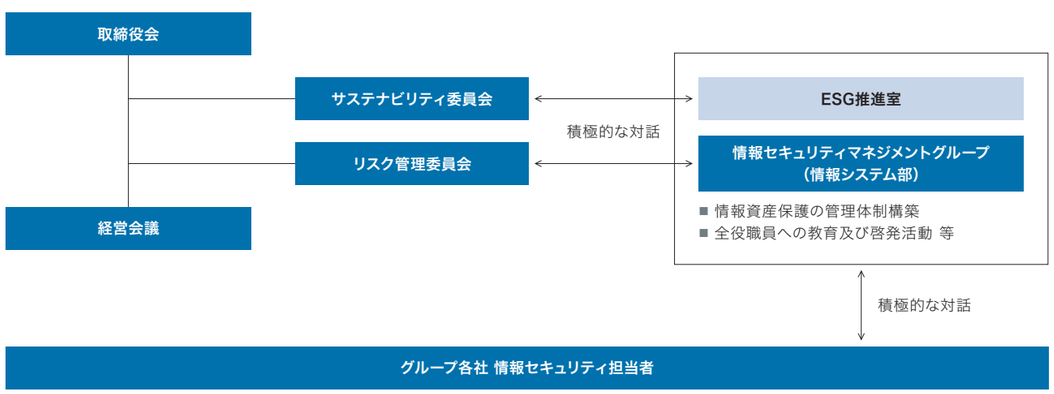
5 監視体制の整備、充実への取組

- 本『情報セキュリティ基本方針』、ガイドライン及び手順書等への準拠性に対する内部監査を実施できる体制を整備し継続していくことに努めます。
- これらの活動により、役職員が本『情報セキュリティ基本方針』を含む規則を遵守していることを証明します。

6 継続的な改善

- 本方針、関連規程及び手順書の見直しを行い、定期的に情報セキュリティ対策実施状況を評価し、情報セキュリティの継続的な改善を図ります。

組織体制



2020年の取り組み

1 グループ情報セキュリティ基本方針の制定

グループ共通の『情報セキュリティ基本方針』を策定し発信しています。

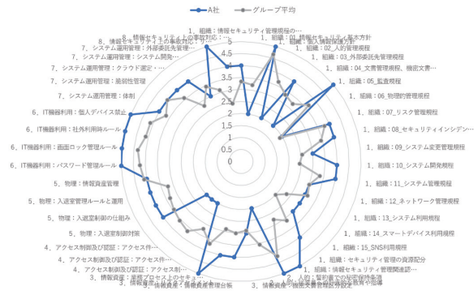
2 情報セキュリティ管理体制の強化

グループ会社への情報セキュリティレベル調査を実施し、調査結果をチャート分析するとともに、そこから表面化した課題を個別に把握し、グループ会社に設置された情報セキュリティ管理者と定期ミーティングを実施しながら、課題解決に向けた施策を実施しております。

イメージ図

調査項目一覧	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社	グループ平均
1、組織：情報セキュリティ管理規程の整備	4	3	3	3	3	4	2	3	5	3.33
1、組織：01_情報セキュリティ基本方針	2	4	2	3	4	4	2	3	5	3.22
1、組織：個人情報保護方針	5	3	4	5	5	5	5	5	5	4.67
1、組織：02_人的管理規程	2	3	4	5	5	3	1	5	5	3.67
1、組織：03_外部委託先管理規程	4	1	4	4	4	3	1	4	5	3.33
1、組織：04_文書管理規程、機密文書管理規定	2	1	2	5	5	3	1	5	5	3.22
1、組織：05_監査規程	5	1	2	5	5	4	1	5	5	3.67
1、組織：06_物理的管理規程	2	1	2	2	2	0	1	2	5	1.89
1、組織：07_リスク管理規程	4	1	5	5	4	4	1	5	5	3.78
1、組織：08_セキュリティインシデント報告・対応規程	4	3	3	3	4	4	2	3	5	3.44
1、組織：09_システム変更管理規程	3	1	2	3	4	1	1	3	5	2.56
1、組織：10_システム開発規程	4	1	2	4	4	1	2	4	0	2.44
1、組織：11_システム管理規程	4	1	2	4	4	4	2	4	5	3.33
1、組織：12_ネットワーク管理規程	3	1	3	3	3	4	2	3	5	3.00
1、組織：13_システム利用規程	3	1	3	3	4	4	2	3	5	3.11
1、組織：14_スマートデバイス利用規程	3	1	3	3	3	4	1	3	0	2.33
1、組織：15_SNS利用規程	3	1	2	3	5	0	1	3	0	2.00
1、組織：セキュリティ管理の資源配分	4	2	1	4	3	4	1	4	5	3.11
1、組織：情報セキュリティ管理関連認証取得	5	1	1	2	1	2	4	4	5	2.78
2、人的：誓約書での秘密保持条項	5	2	4	4	4	5	4	5	5	4.22
2、人的：従業員への計画的な教育や取得	2	2	4	4	3	4	4	4	5	3.56

調査項目



レーダーチャート分析

3 情報セキュリティ教育の実施

実務担当者にわかりやすい『情報セキュリティ5か条』および『情報セキュリティマニュアル』とeラーニングで役職員への浸透をホールディングスにて実施しています。

eラーニング 研修概要

新卒、中途社員・・・一般論を中心として、以下の研修に取り組み、95%以上の受講率

1 情報セキュリティ
- IDパスワードの管理
- SNS利用の注意点　等

2 個人情報保護
- 個人情報利用の基本ルール
- 第三者への提供のルール
- 安全管理措置や匿名加工情報
- 個人情報の漏えい事故の防止　等

3 サイバー攻撃
- サイバー攻撃の恐怖
- ファイル偽装の手口
- マルウェア、ランサムウェア　等

4 コンプライアンスの落とし穴
- 労働時間
- 反社会的勢力
- 著作権侵害　等

5 コンプライアンス研修（インターン・アルバイト対象）
- 持ってほしい意識
- 個人情報
- 秘密情報
- 著作権
- 業務のやり方に関する最低限のルール　等

既存社員・・・一般論を習得した既存社員は、より深く業務と関連性がある研修を、『情報セキュリティマニュアル』に則り習得する機会をつくりました。

4 情報漏洩の防止

主要会社ではID管理の多要素認証や端末認証をはじめとした暗号化、情報やシステム等へのアクセス制御、お客様情報のお預かりの仕組みの刷新、業務システムのクラウド化やメールの暗号化及び誤送信対策等により、場所を選ばない働き方とセキュリティの両立をすすめ、コロナ禍の新たな働き方にもスムーズに対応しています。

今後の取り組み

お客様にDXを含む新たな取組など様々なソリューションを提案するなかで、今後も引き続き情報セキュリティ基本方針に則り、役職員へのルールの浸透、管理体制、教育・訓練の強化を行います。